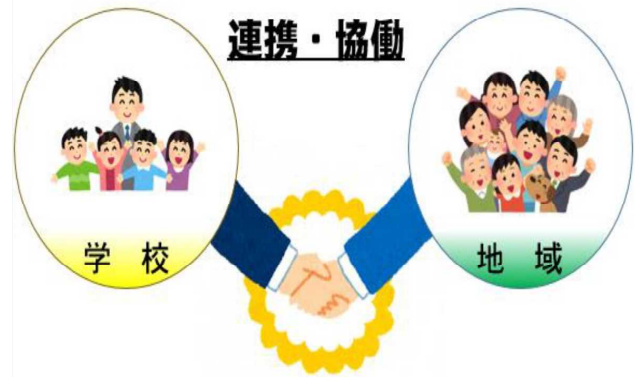


地域の課題解決に向けた高等学校と地域の連携・協働について

県中教育事務所

学校と地域の連携・協働とは

福島県教育委員会では、少子化や過疎化、地域コミュニティの希薄化や分断など、学校や子ども、地域社会が抱える様々な課題が顕在化する中、学校の学習活動を地域が支援し、ボランティア活動などで学校も地域に貢献する、双方向で連携・協働する活動を通して学校教育の充実と地域の活性化を一体的に実現するため、本年2月に地域学校活性化推進構想を策定しました。



県立高等学校における「地域課題探究活動」

県立高等学校では、物事の「見方・考え方」を総合的に身に付け、自分と社会との関わり方についての理解を深めるとともに、生徒に郷土愛や復興に貢献する志を育成することを目的として、地域そのものを学びのフィールドとした体験的な地域課題探求活動を日常の学習活動の中で実践しています。

また、総合的な学習の時間や生徒会活動等を通して、地域の行事等への参加やボランティア活動等も実施しています。

地域本部でのマッチングとは



学校と地域の連携・協働をより一層充実させるため、本年度より県中教育事務所が地域本部となり、県中地方振興局と連携し、域内の高等学校と市町村、地域団体、企業等とのマッチング調整を行うこととしました。

今後の進め方について

高等学校では、現在も地域や企業と連携した活動を行っておりますが「地域にいる講師の情報が欲しい」「地域との繋がり窓口となる人材が分からない」「インターンシップ先の企業選定が難しい」といった意見があります。そこで、県中教育事務所(地域本部)では、地域と学校の連携・協働活動を現在行っている市町村や地域団体、企業等の現状と課題についてヒアリングを実施することとしました。